様式2　重点検討事項および情勢報告

都県名：　　　　都県

**１　みどりの食料システム戦略（****減化学肥料、減化学農薬、有機農業等）の推進に向けた取り組みと課題**

農林水産省は、令和3年に「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進している。「みどりの食料システム戦略」では2050年目標として、CO2ゼロエミッション化の実現、化学農薬の使用量（リスク換算）50％低減、化学肥料の使用量30％低減、有機農業の取組面積割合を25％（100万ha）に拡大することとしている。しかし、これらの目標を実現するためには、今後の革新的な技術・生産体系の開発とその社会実装が強く求められている。そこで、農研機構と各都県におけるみどり戦略の取り組み状況や普及定着に向けた課題、国および農研機構等への要望を共有し、今後の研究戦略や取り組み等について議論する。

1. みどり戦略（減化学肥料、減化学農薬、有機農業等）への取り組み状況

（各機関での取り組み状況をご紹介ください）

1. みどり戦略（減化学肥料、減化学農薬、有機農業等）の普及定着に向けた課題

（各機関での課題等をご紹介ください）

1. みどり戦略（減化学肥料、減化学農薬、有機農業等）の推進における国および農研機構等への要望

（各機関からの要望をご紹介ください）

**２　一般情勢報告**

（都県における研究推進上の課題ならびに研究基本計画の見直しや研究組織、予算等の状況について、特徴的な動きや変更点を中心にご報告ください）